

2025年4月 ご注意いただくポイント

3つの評価軸

すべての調査項目は、下記の3つの評価軸に分類されます。
評価軸により、選択の基準が変わります。

軸	判断基準	調査項目
能力	●「できる」か「できない」かの能力で判断する。 ●可能な限り試行する。できない場合は日頃の状況を聞き取る。 ●試行の結果が日頃の状況と異なる場合は頻回にみられる能力で判断する。	1 群 3～9、12,13 2 群 3 3 群 1～7 5 群 3
介助の方法	●実際に行われている介助の状況、あるいは適切な介助で判断する。 ●より頻回な状況で選択する。	1 群 10,11 2 群 1、2、4～11 5 群 1、2、5、6
有無	●行動が、評価期間内に「ある」か「ない」かで判断する。 ●1 群 1,2 については可能な限り試行する。	1 群 1、2 2 群 12 3 群 8、9 4 群 1～15 5 群 4

評価軸により、特記事項の書き方も変わってきます。

軸	特記事項
能力	●試行の結果 ●試行できなかった場合、その理由と日頃の状況 ●日頃の状況と異なる場合、日頃の状況の聞き取り内容
介助の方法	●具体的な介護の手間と頻度 ●選択基準に含まれない介護の手間、固有の介護の手間（二次判定の材料） ●適切な介助を選択する場合、不適切と判断した理由と適切な介助の方法
有無	●1 群 1、2 については、試行の結果（日頃の状況と異なる場合、その内容） ●BPSD 関連項目（3 群 8～9、4 群、5 群 4）では、具体的な行動の内容、介護の手間とその頻度